
道道きたひろしま総合運動公園線の 整備における環境保全を考える協議会

【 第1回 】

会議資料

令和2年5月28日

北海道空知総合振興局
札幌建設管理部

1.事業計画概要

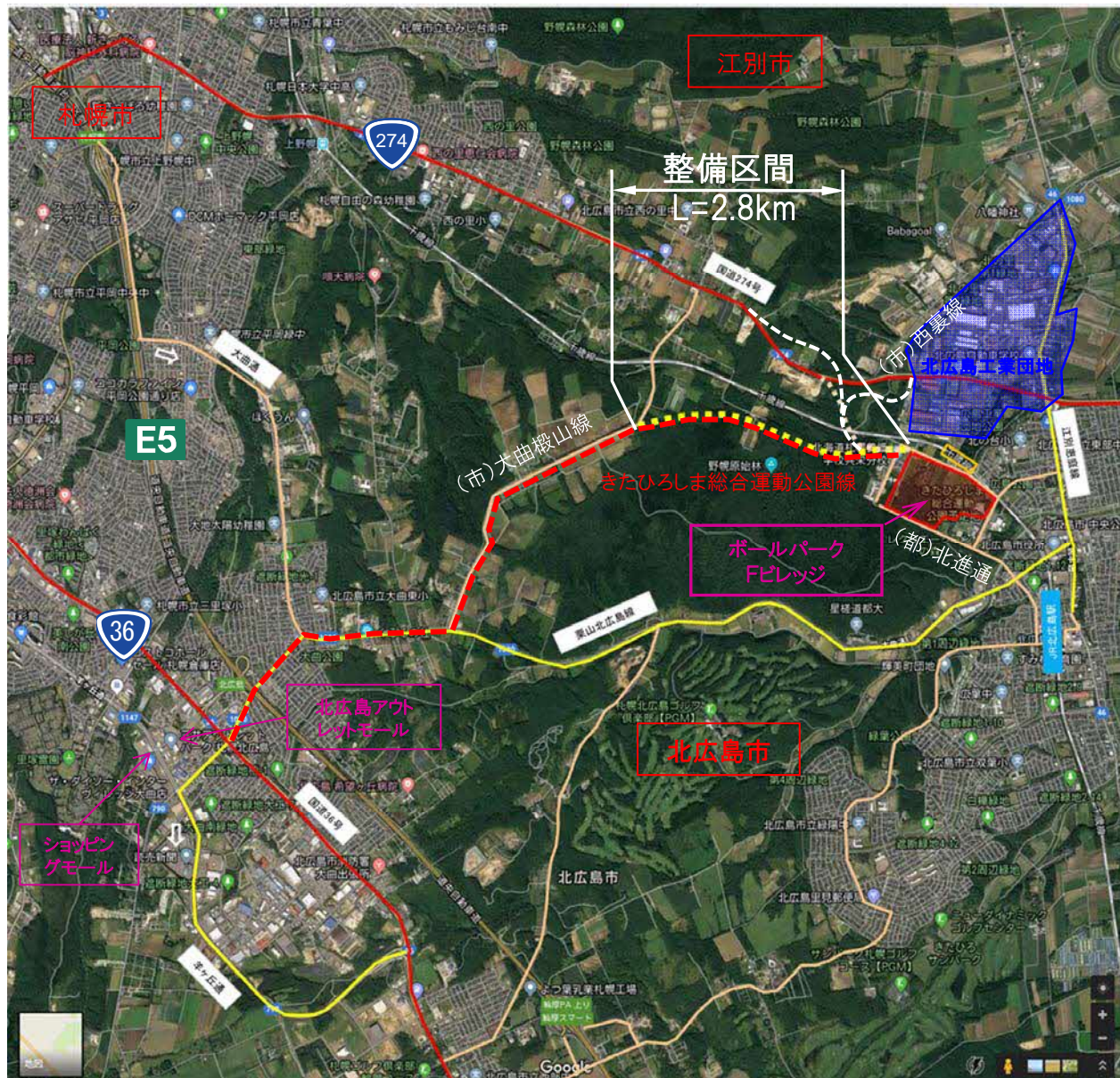
- (1)道路計画概要
- (2)設計概要

2.環境保全概要

- (1)調査結果・保全措置報告・まとめ

(1)道路計画概要

1. 事業計画概要 2



- 延長 L=2.8km
- 計画交通量 7,300台／日
- 道路区分 第3種2級
- 幅員 全幅 9.0m
車道 3.25m × 2 = 6.5m
路肩 1.25m × 2 = 2.5m
- 設計速度 60km/h
- 歩道計画 無し

【計画断面】3種2級
9.0m

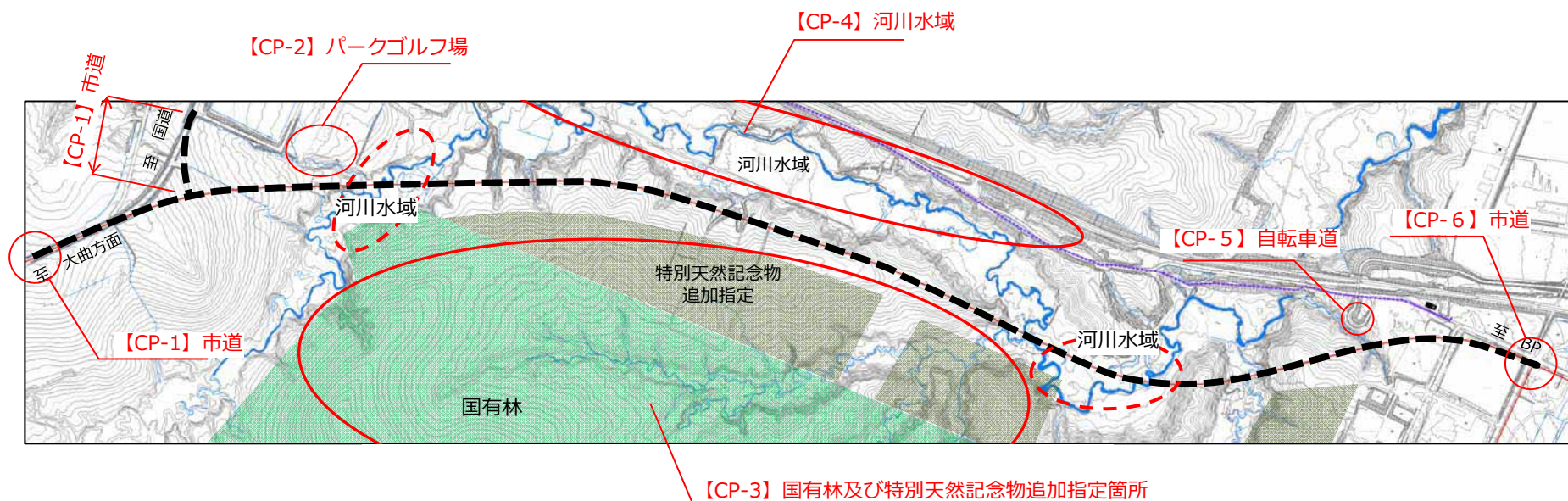


(出展 : Google)

【道路平面線形の考え方】

【道路平面線形のコントロールポイント】

- CP-1 : 市道大曲榎山線の接続を考慮する
- CP-2 : パークゴルフ場を支障としない
- CP-3 : 国有林及び特別天然記念物追加指定箇所を支障としない
- CP-4 : 河川水域の影響を最小限にする
- CP-5 : サイクリングロードを支障としない
- CP-6 : 市道西裏線の接続を考慮する



【道路縦断線形の考え方】

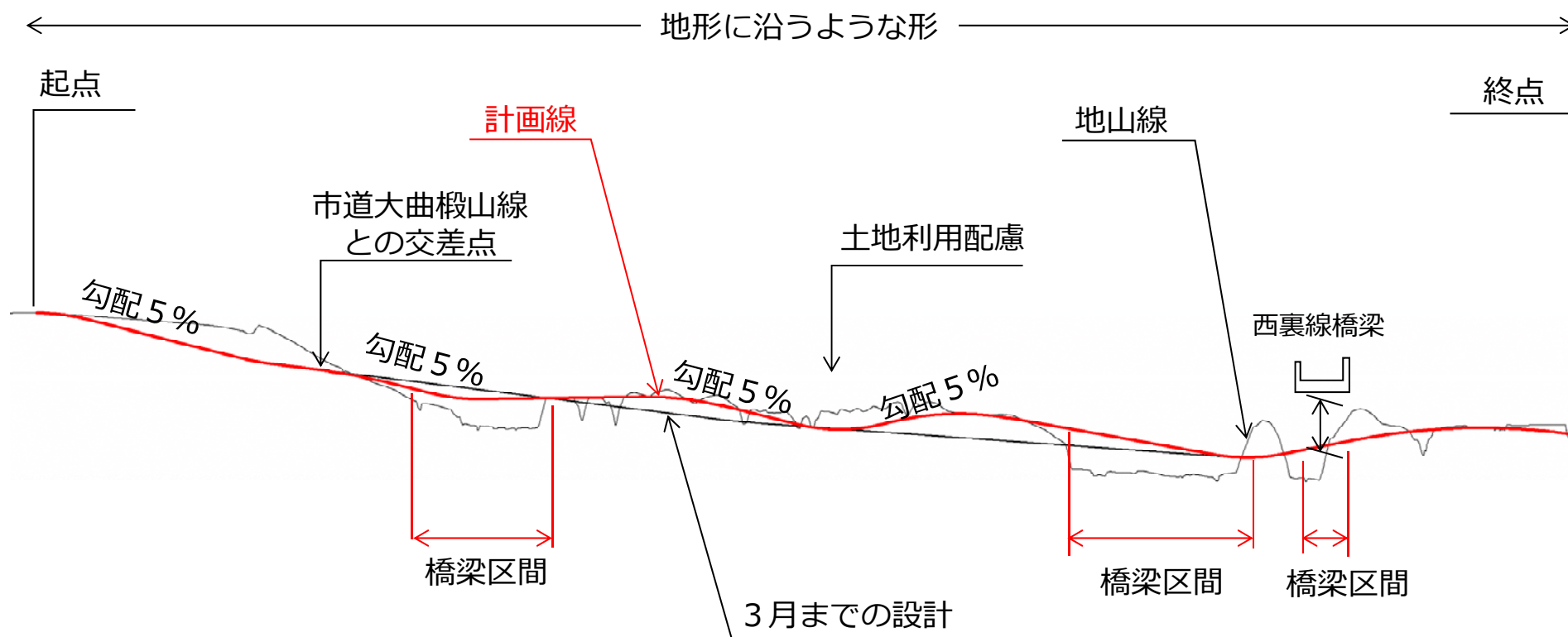
地形改変を減らすために

- ・ 地形に沿うような線形とする
- ・ 最大縦断勾配の5%を基本とする

道路構造令における考え方

【縦断勾配の最大値】

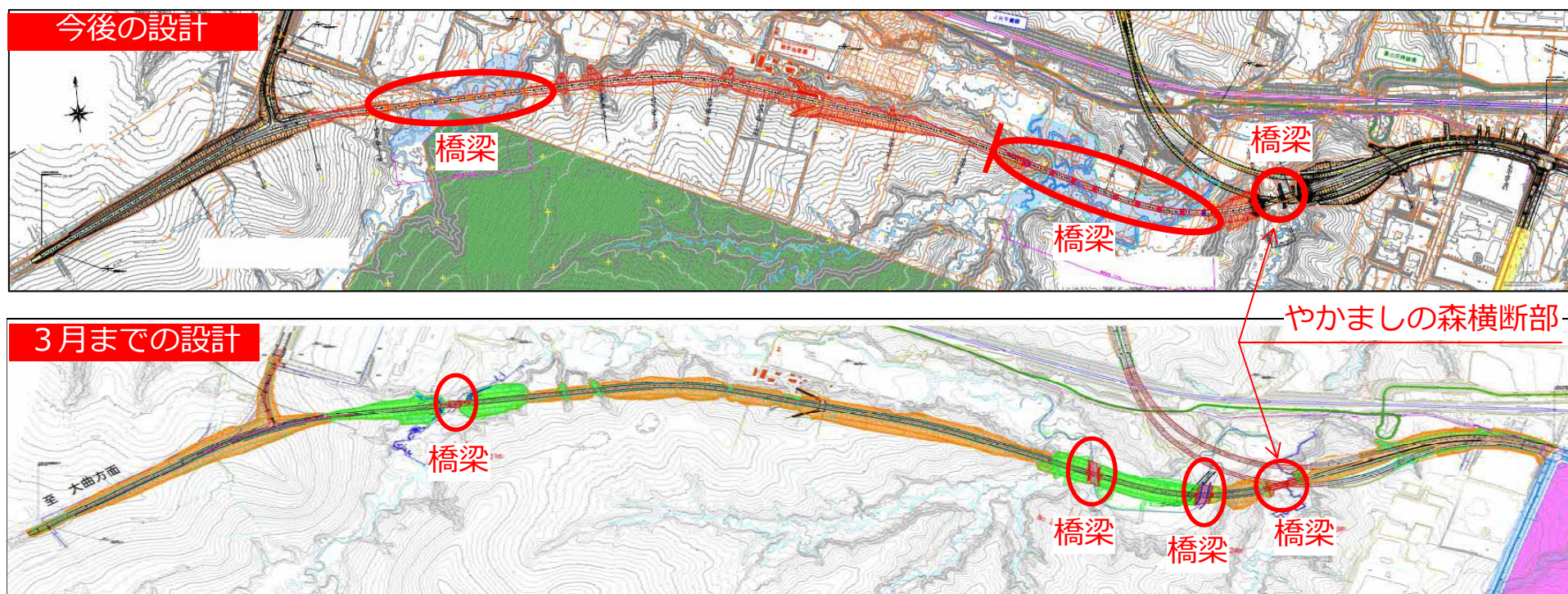
- ・ 第3種の普通道路においては、5%以下
(道路構造令 第20条)



【橋梁の考え方】

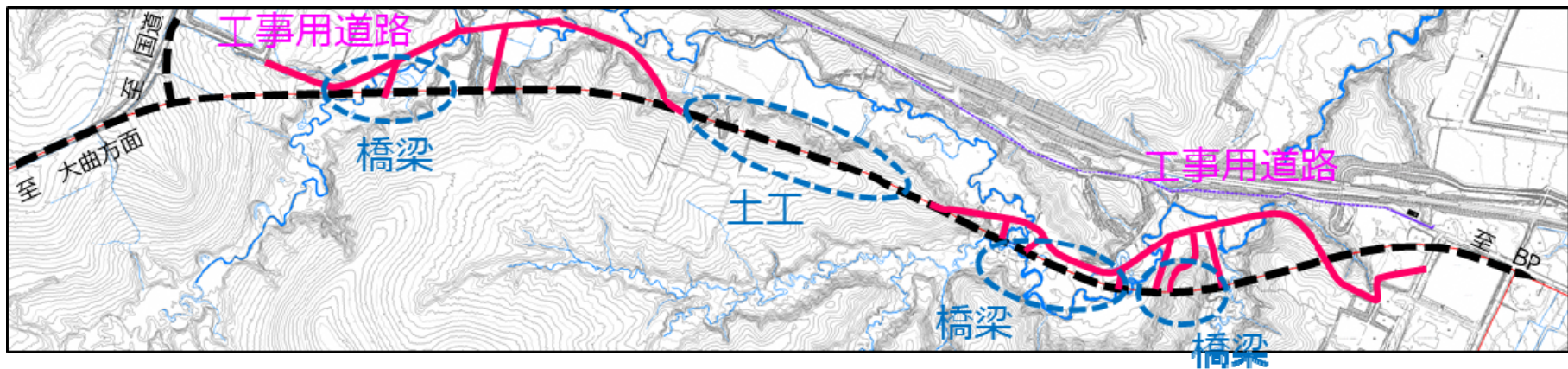
今回の橋梁の配置においては、現地の状況を再確認し、河川条件の整理や公園エリアの利活用を考慮し、橋長を検討する。

- ・ 河川環境の保全のため、河川の本原形を考慮するとともに、降雨時の浸水区域の外に橋台を配置する。
- ・ 水辺の広場エリアの利活用を配慮し橋梁を設置する。



【工事用道路の考え方】

- ・新設道路上ですべての施工を行う場合、一方向から作業を行うことから非効率なものとなる。
- ・橋梁部と土工、道路工を同時施工することにより安全で効率的な施工となる。
- ・工事用道路設置による環境への負荷や撤去後の復元等について検討する。



(参考例)

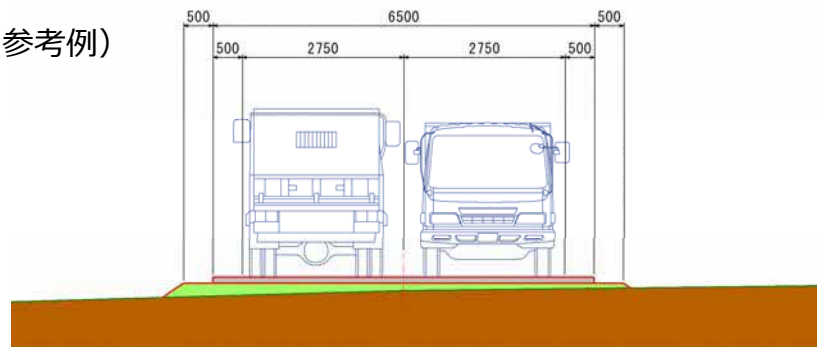


図-標準断面図

(参考例)

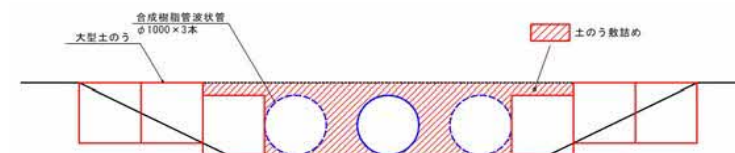


図-河川横断箇所

■1. 保全措置(1/2)

区分	項目	調査結果	保全措置	保全措置進捗
植物	重要種4種	周辺に点在して生育	<ul style="list-style-type: none"> ・消失個体の代償 ・改変区域外生育適地へ株を移植 	<ul style="list-style-type: none"> ・仮移植実施(R1.11) ・11月に本移植予定
	フクジュソウ	周辺に多数分布	<ul style="list-style-type: none"> ・生育地への影響低減 ・地形改変の低減 	
鳥類	オオタカ	施工に配慮が必要	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖への影響回避 ・配慮期間(4月-7月) 、 配慮区域(250m) の設定 ・モニタリング(3月-8月) 	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖モニタリング(R2.3-8予定) ・配慮区域内(営巣木から250m圏内での立ち入りを禁止 (R2.4-7)
	ハイタカ	周辺で古巣を確認	(現状 (R2.4時点) なし)	・繁殖状況調査(R2.3-8予定)
	クマゲラ	周辺でねぐら利用可能性木を確認	(現状 (R2.4時点) なし)	<ul style="list-style-type: none"> ・繁殖状況調査(R2.3-) ・利用状況観察 (R1.12-)
	その他重要種(9種)	周辺で飛翔、鳴き声等を確認	<ul style="list-style-type: none"> ・生息環境への影響低減 ・地形改変の低減 	・モニタリング(R2.4,6予定)
哺乳類	コウモリ類	コキクガシラコウモリ、ヒナコウモリ科の一種を確認	* R2調査結果により検討	<ul style="list-style-type: none"> ・BD調査(R2.5~9予定) ・捕獲調査(R2.5~9予定) →生息種、移動経路の把握
	シカ	移動経路不明	<ul style="list-style-type: none"> ・ロードキル対策 <p>* シカ柵設置等を検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・痕跡調査 (R1.2,3) ・自動撮影(R2.4~通年予定) ・移動経路の把握

■2. 保全措置(2/2)

区分	項目	調査結果	保全措置	保全措置進捗
両生類	エゾサンショウウオ	周辺の水域に産卵	<ul style="list-style-type: none">・消失卵のうの代償・改変区域外の産卵池に卵嚢を移植	<ul style="list-style-type: none">・移植実施(R2.4)・モニタリング(R2.5,7予定)
甲殻類	ニホンザリガニ	周辺の沢に生息	<ul style="list-style-type: none">・消失個体の代償・改変区域外の生息地に個体を移植	<ul style="list-style-type: none">・移植実施(R1.9)
昆虫類	重要種10種	周辺に生息	<ul style="list-style-type: none">・生息環境への影響低減・地形改変の低減	<ul style="list-style-type: none">・モニタリング(R2.8予定)
魚類	重要種3種	裏の沢川に生息	<ul style="list-style-type: none">・生息水域への影響低減・河道改変の低減・工事中の濁水処理	<ul style="list-style-type: none">・モニタリング(R2.6予定)・流末処理の検討
水質	生活環境項目	清冽	<ul style="list-style-type: none">・工事中の濁水処理	<ul style="list-style-type: none">・モニタリング (R2.濁水時,増水時予定)・流末処理の検討

■3. 令和2年度継続調査・保全措置工程表

調査/ 保全 措置	区分	項目	令和 元年度 まで	令和2年度（月）												令和 3年度 以降	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
保全 措置	鳥類	繁殖状況調査	3月～7月	●	●	○	○	○							○	○	
		クマゲラ痕跡調査	12月～2月									○	○	○		○	
		一般鳥類調査	4月、6月	●		○										○	
	植物	実生苗再調査	-														
		影響区域外重要種分布調査	-														
		生育環境把握コドラート調査	-														
		移植作業	仮移植：11月									○					
		モニタリング	-		●												○
		エゾサン ショウウオ	産卵状況調査	4月	●												○
	移植	-	●														
	モニタリング	-		●													
継続 調査	哺乳類	コウモリBD調査	補足：10月		○	○	○	○	○							○	
		コウモリ捕獲調査	-			○	○	○	○							○	
		エゾシカ痕跡・自動撮影	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
モニタ リング	昆虫類	昆虫相調査	8月					○								○	
	魚類	魚類相調査	6月			○										○	
	水質	生活環境項目調査	濁水・増水													○	

●実施済み ○実施予定 (R2.5月時点)